

ブレインバンクに献体をご了承頂いたご家族皆様へ
(研究に関する情報)

当院ならびに関連施設では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、研究への協力を希望されない場合は、下記に記載されている研究の担当者までお知らせください。なお、研究への協力を希望されない場合は、いつでも拒否ができ、そのために診療上で不利益を被ることはありません。

研究課題名	皮質基底核変性症(CBD)の中央診断 (福祉村病院倫理委員会承認番号#415)
当院の研究責任者	福祉村病院長寿医学研究所 研究員 赤津 裕泰 (名古屋市立大学医学研究科 教授)
他の研究機関および各施設の研究責任者	福祉村病院神経病理研究所所長 橋詰良夫 東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンク部長 村山繁雄 [中央診断] 弘前大学神経病理教授 若林孝一 東京都立神経病院検査科部長 小林隆司 国立精神神経医療研究センターブレインバンク責任者 齊藤祐子 [生化学解析] 東京都医学総合研究所認知症研究プロジェクトリーダー 長谷川成人 [遺伝子解析] 新潟大学脳研究生命科学研究センター教授 池内健
本研究の目的	神経難病の中で、皮質基底核変性症 (CBD) は臨床診断が難しく根治療法はまだない。また、神経病理診断も難しく、米国では米国神経病理学会が主導し中央診断により診断基準を作成している。CBD は希少で国内における一研究機関では十分な検討は困難であり、中央診断を行うことで、ブレインバンクリソースの品質管理を行うとともに、診断基準の作成により今後のリソースの品質を担保することを目的とする。
対象者該当期間	福祉村ブレインバンクに保管されている全症例。
研究の方法	剖検症例の試料から、CBD 診断に必要な部位 (大脳皮質、基底核・視床、中脳、橋、小脳などの凍結組織ならびに薄切切片) を各研究機関へ輸送する。各所で診断に必要な組織染色、タンパク解析、遺伝子解析などを行い、そこから得た結果と臨床情報を元に中央診断を行う。
個人情報の取扱い	長寿医学研究所個人情報管理者によって適切に管理される。
お問い合わせ先	名古屋市立大学大学院 医学研究科 地域医療教育学(秘書宛) 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 TEL 052-853-8527 (内線 8527)
備考	

